

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」七隈校		
○保護者評価実施期間	令和6年 12月10日		～ 令和7年 1月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32	(回答者数) 26
○従業者評価実施期間	令和6年 12月10日		～ 令和6年 12月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	全国に事業所がある	・全国に事業所があることで、支援の内容や仕方が若干ちがうことがあり、その為定期的にZOOMでの研修などがあり、良いものは共有しながら、各事業所へ還元している	・次年度以降はより研修やご領域にそった研修等も増える予定
2	本人の苦手な所のフォローへの取り組み	・児童よっての苦手な所を見出し、根気よく継続して続けることが出来ている ・本人が支援に取り組めるように、指導員がクールダウンなどをうまく取り組みながら、上手に支援している	・今後ご領域に沿った支援を図ると共に、言語聴覚士等の専門職員を配置予定
3	進学や就職にむけての知識	・事業所を利用している児童の為に、日々挨拶まわりなどをし、情報収集に努めている ・進学や就職に対しての助言やフォローをすることが出来る	・引き続き挨拶まわりを行い、知識の向上に努めていく ・児童ごとに将来に必要なサポートを考えながら、必要時にフォローが出来る
4	・退職職員が少ない	・開所当時より職員の異動で配置換えはあるものの、私的理理由での退職者は少ない。 ・職員が働きやすい環境作りに努めている ・会社として福利厚生等常に更新してくれている	・今後も職員が働きやすい環境づくり(勤務形態、給料等) ・本人が好む研修への参加を促し、質の向上に努めていく

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・SSTのスキルがまだ足りない	・今後SSTの種類などを増やし、それをもとに次のステップに繋がるようにする	・現在各自勉強をすると共に、研修や模擬等を行い、改善に努めていく
2	・職員間での支援の差がある	・統一した支援が出来るようになる	・現在統一した支援が出来るように研修や模擬を行い、改善に努めていく

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 どもサポート教室「きらり」七隈校

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 32名

回収数 26

	チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	6			20	・事業所内にあまり入る事がないので、わからない ・特別狭いとは感じないが、事業所によって差が感じられる ・とても満足している・事業所内でイベントをされるなど、子供も楽しんで過ごしている為、スペースはあると思う	・現在スペースはパーテーションなどで区切り対応したりしています。とても狭いことはないと思いますが、今後はより活動スペースと集団のすみわけをしていきたいと思っています
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	15	8		3	・特に少ないとは感じない ・常に管理者の職員がおり、安心している ・現在休みの職員はいるようですが、基準は満たしている と聞いている	・職員の基準はみたしてはいますが、日によって職員の病欠などで、人員的に少ないときはあります
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	5	3		18	・事業所内にあまり入ることがないので、わからない ・事業所内に身障者トイレがあった ・スロープがあり、車いすでも利用できる	・事業所内には車いすが利用できる身障者トイレや、スロープがあります
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	10	2		14		
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20			6	・管理者をはじめ先生たちがきちんとしてくれている	・専門性のある職員から研修など参加をし、職員全員で専門性に繋がる努力をしています
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10	2		14	・よくわからない	・今後ホームページなどに掲示して参ります
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	12			14	・希望通りではない。以前と違う ・保護者のニーズは長時間の預かりや送迎ですが、今年から送迎が減り、時間も短くなっている	・年度末になりますので、各家庭に対し、面談を計画し、主訴を聞き、計画を立てていきます
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			14	・わかりません ・どのことをさせているかがわからない	・今後わかりやすい説明をして参ります ・いつでも聞ける環境に努めて参ります
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	12			14		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20			6	・外でのイベントが他のデイと違い全くない ・先生たちが子供たちが喜ぶイベントを室内で考えてくれて、とてもありがたい	・現在感染症もあり、外出イベントは計画していませんが、室内でも児童が楽しめるイベントや活動を計画しております
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	10			16		
保護者 への 説明	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	22				・契約時に聞いた ・最初に聞いた	・契約時に説明をしておりますが、必要時にはいつでも聞ける環境に努めてまいります
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20			6	・送迎時等に説明があった	・事業所や送迎時等に説明をしておりますが、今後については現在検討中です
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	18			8		
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	22			4	・いつも親身になって聞いてくれる ・指導員の先生がわからない時には、必ず管理者の先生から電話などがあり、共通理解があると思う	・日ごろからどの職員も傾聴し、共通理解を心がけております。今後もいつでも相談して頂けるとありがたいです
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	3		8		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	4		10	・子供が休まないのが、それが答えかと	・出来る限り寄り添う支援を心がけております。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされているか。	18	2		6	・年に数回は就職に向けてやおみせやさんごっこなどで参加することがある	年に1～2回を目安に保護者会と機会を作り、就労系や進学系などその時々で内容を検討し、今後も継続していきたいと思っています	

す	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	22	1	5	・先生に相談すると、対応がわからない時などは、ベテランの管理者の先生などが説明をしてくれる ・利用していない友達との遊びなどを相談すると嫌がることもなく、相談に乗ってくれ、高校に入ることが出来た	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	18	2	6		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	2	10	・ビジネスライン ・ホームページにのっている	・月に2回ホームページに掲載しています。又、ビジネスラインなどでも発信したりしております
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16	2	10		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18		8	・子供が時々話をすることがある。おかしの約束など	・マニュアル関係は定期的に更新しております ・月に1回は防災訓練を実施
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18		8		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18		8		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	20		6	・ある	・ヒヤリや事故でも事業所内で起こった際には、必ず当日中に保護者へ連絡しております
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	24		2		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	23	1	1	・楽しんでいっている ・イベントなどの際は、特に楽しみにしている ・先生たちが好きで、行きたいと自分という	・児童が楽しみながら通所出来るように、常に職員間で連携を図り、対応しております。
	29	事業所の支援に満足していますか。	20	2	4	・年末年始等の事業所より長い ・以前のような外出イベントがなくなり、残念 ・とても満足している	・支援に満足して頂けるように、通所と共に、常に職員間で連携を図り、対応しております。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」七隈校			公表日		2025年 2月 15日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。		7	時間の変更など出来る場合には変更して頂き、対応を図っている	児童が高学年になり、集団活動を行う際に、圧迫感を感じる時がある		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		7	他の事業所よりヘルプなど要請をし、人力的なミスがないようにしていく	職員の急な休職などにより、職員の基準より配置は満たしているものの、人員がたりないとかじることがある		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		7	内装工事をしたり対応しているものの、まだ足りていない	配線面での位置が悪い		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。		7		全体的に狭い		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7					
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			どちらかといえば保護者のニーズが高く、客観的に出来ているかは難しい		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			出来ている部分と出来ていない部分があるので、今後より検討が必要である		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		事業所内での研修があるので、外部はあまり受講することがないが、今後は検討し、知識の向上にも努めたい	法人内で、年間通しての件研修計画があり、定期的の実施している		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。		7	今年度末に面談予定があり、改善を図る予定	児童によってのばらつきがある為、今後改善していく必要がある		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。		7				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。		7				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。		7		全体的にばらつきがある。今後さらなる改善をしていく必要がある		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7					

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		7	事業所内のパソコン、携帯に情報の共有を行うようにしている	最後の支援の際には、時間的に共有をする時間が難しく、次の日の朝に実施している
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		7	事業所内のパソコン、携帯に情報の共有を行うようにしている	最後の支援の際には、時間的に共有をする時間が難しく、次の日の朝に実施している
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		事業所内のパソコン、携帯に情報の共有を行うようにしている	記録を入力しているが、当日中に出来ず、次の日にまわすことがある
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		現在改善中	半年に一度出来ている
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7				
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。		7		毎週プリントを確認することはあるが、突然の変更などあり、連絡調整に戸惑うことがあり、現在改善しているところ
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		7		すべてを共有することは出ていない
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		7	事業所内でイベントをする際に、時折地域の子供も参加することがある	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		7		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時等に確認をしている	例年1～2回は保護者会を実施。又イベントに参加していただき、児童や他の保護者とも交流する機会を作っている	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			上長へ報告し、迅速に対応している	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			月に2回はホームページに掲載している	
37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7				
38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7				

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			その都度対応をし、必要時には管理者より対応をしている
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	7			例年1～2回は保護者会を実施。又イベントに参加していただき、児童や他の保護者とも交流する機会を作っている
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			上長へ報告し、迅速に対応している
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			月に2回はホームページに掲載している
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			必要時には絵カードなど準備している
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7			ホームページや事業所内に掲示したりしている
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		該当児童は把握している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7			事業所内で把握はしているものに、件数が少ない為、隠れている部分がないか等、更なる改善も必要である
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7				